

令和2年度第2回一関市スポーツ推進審議会 会議録

- 1 会議名 令和2年度第2回一関市スポーツ推進審議会
- 2 開催日時 令和2年10月23日（金）午前10時から午前11時30分まで
- 3 開催場所 一関市役所2階 大会議室A
- 4 出席者
 - (1) 委員 吉家義博委員（会長）、廣長千鶴子委員（副会長）、阿部稔委員、伊東三四司委員、江刺邦昌委員、大和田コト委員、佐々木由紀子委員、佐藤伸哉委員、佐藤隆一委員、菅原芳久委員、田村純一委員、千田真也委員、千葉京子委員、千葉整一委員、中野信雄委員、萩田進委員、皆川啓委員
 - (2) 事務局 佐藤孝之まちづくり推進部長、猪股悦子まちづくり推進部次長兼スポーツ振興課長、滝澤清スポーツ振興課スポーツ振興係長、後藤美佳スポーツ振興課主任主査、大瀬浩平スポーツ振興課主事

5 議 題

- (1) （仮称）一関市スポーツ推進計画の構成について
- (2) 策定スケジュールの変更について
- (3) 一関市民のスポーツ活動に関するアンケート調査について
- (4) その他

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者の数 なし

8 会長挨拶

今年度は年度当初からの新型コロナウイルス感染症の関係で、当市のスポーツイベントが中止という状況になっております。今後においても見通しが立たない状況ではあります。様々な対策を取りながら、スポーツ活動を行ってほしいと思います。

本日の審議会は、第2回目であります。来年度から5年間の計画期間とするスポーツ推進計画を策定するため、内容について十分ご意見をいただき、良い計画を策定できるようよろしくお願いいたします。

9 審議内容

- (1) （仮称）一関市スポーツ推進計画の構成について
事務局が、資料に基づき説明した。質問、意見等なし。
- (2) 策定スケジュールの変更について

事務局が、資料に基づき説明した。以下、質疑応答。

委員 第3回から第5回の審議会の時間は午前か、午後か。

事務局 午後を予定しているが、委員の都合に合わせたい。

委員 11月2日から13日の懇談会について、地区体育協会は全ての地域なのか。地域協働体はどの地域の協働体のことか。

事務局 全地域の地区体育協会に案内を出している。地域協働体についても、全地域のまちづくり協議会に案内を出している。

(3) 一関市民のスポーツ活動に関するアンケート調査について

事務局が、資料に基づき説明した。

委員 スポーツに関することの周知が課題と感じる。人口の約半分は高齢者であるため、高齢者の意見も反映すべきである。スポーツをあまりしていない理由として、仕事や家事、育児などで時間がないことや、情報、機会がないことが挙げられている。そういった方にどのような働きかけをするのかが課題である。競技スポーツではない軽体操やヨガなど簡単にできるものも求められている。

委員 スポーツ推進委員を知らなかったという意見が多い。10月21日にスポーツ推進委員の懇談会があったようだが、どのような内容だったのか。

事務局 内容は、スポーツ推進委員活動の現状と課題について、市民のスポーツ活動への関わり方についてという2つのテーマである。スポーツ推進委員の役割についての意見、選任についての意見、自主事業を開催したいという意見、PRが足りないなどの意見が出た。

委員 1,000人にアンケートを行い、回収率が37.2%となっているが、回収率が低いのではないか。

スポーツ推進委員の定員や選出はどのように決まっているのか。

事務局 アンケートは、統計の取り方に従って行った。一関市の人口でアンケート調査を行う場合、約400のサンプルがあれば割合として参考になる。他のサンプル調査を基に、回収率を40%強と設定して、1,000人にアンケートを行った。

スポーツ推進委員については、市の規則で定員は55名以内としており、選考基準も定めている。各地域の人口に按分して、スポーツ推進委員の人数配分を行っている。

委員 一関市のスポーツを行っている人の全体像が見えにくい。市民センターでスポーツをしている人や、障がい者でもスポーツをしている方がいるため、確認してほしい。

(4) その他

スポーツの現状と課題について、各委員から意見を伺った。

委員 市営の屋内プールは藤沢地域にしかなく、アンケートに雨の日でも子供と一緒に遊べる施設が欲しいといった意見も挙がっている。屋内で気軽にスポーツができるような施設が必要である。

委員 元気よく生活できる健康長寿の意識をみんなに持ってもらうことが大事である。多くの人がみんなと一緒に一つのことをやり遂げるというところに、地域の結束、地域活性化が見えてくるのではないかと思う。

委員 外での運動は密になりにくいのが、冬になると外での運動は厳しい。コロナ禍で競技スポーツよりも手軽に体を動かせる軽スポーツなどができるよう、どのように働きかけていくかが課題である。アンケートによって見えてきたものもあると思うので、今後を活かしてもらいたい。

委員 アンケートでは、運動が好きだが実施していない人が多い。そのような方どのように働きかけていくかを考える必要がある。スポーツと関わりが持てるような取組が必要である。

委員 コロナ禍でも、小学生、中学生、高校生は体育活動をしているため、健康面は問題ないと思うが、高齢者は新型コロナウイルス感染症を発症すると重症化しやすいため、今後の活動をどのようにしていくかが課題である。

委員 これからは子供も少なくなり、若い世代がスポーツをすることが難しくなってくる。これからの部活動は、校外指導員を呼んで活動することになるが、厳しい指導をする方もいて、子供たちがスポーツを嫌がるようになったということも聞いている。指導員は、スポーツ少年団の指導員講習を受けることや教育長から任命してもらうなどすれば、子供たちにも良いのではないか。

委員 スポーツ活動について、スポーツ施設の利用状況のみを資料に載せるのではなく、学校の体育館や市民センターなども載せてもらえると分かりやすくなる。

委員 アンケートQ6の「スポーツをどの程度行っていますか」に対して、週に1～2日以上行っている人が100人以上いるが、その人たちの年代を出していくと分かりやすい。Q13の「スポーツ事業を何で知りましたか」について、31名の方がホームページと回答しているが、最近は紙媒体よりSNSを見ることが多いため、そちらの充実も必要だと思う。

委員 スポーツ推進計画策定のために会議を開いているが、来年度の予算は要求している段階のはずである。委員の意見は反映されるのか。来年度は何を重点に予算要求しているのか、次回の会議でいいので教えてほしい。

委員 スポーツの周知方法を考え、全体に行き渡るように周知してほしい。スポー

ツ推進委員を知らない人が多いため、口コミでも広がっていくように働きかけていったら良いのではないか。

委員 高齢社会となっているため、高齢者のスポーツへの参加が増えているが、若い世代は働かなくてはいけないため、参加が少ない。新型コロナウイルス感染症に罹らない対応をそれぞれで取り、スポーツ活動をしてほしい。

委員 新型コロナウイルス感染症の対応を明確に示してもらえると、スポーツ活動がしやすくなる。

10 担当課 まちづくり推進部スポーツ振興課